

## 平成21年度 分野チェックリスト

分野名	区政経営分野	分野番号	6
分野担当部	政策経営部	関連部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			18年度	19年度	20年度	22年度末	年度末
1	区民1人あたりの行政コスト	円	271,981	281,161	279,310	減少させる	
2	区民の区政満足度	%	67.0	75.3	73.4	80.0	
3	杉並区を住みよいつ感じている区民の割合	%	93.2	94.9	94.8	95.0	
4	職員のやる気指数	%	68.2	78.3	82.2	90.0	
5	区民1人あたりの区の負債額	円	93,243	65,933	40,656	減少させる	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)
<p>『区民1人あたりの行政コスト』は、人口が微増し歳出を抑制した予算編成が続いている状況下で、15年度まで減少し、16年度は一時的に上昇した。これは、平成7年度に発行した減税補てん債の繰上償還などのため、財政規模が前年度に比べ増加したことが原因である。</p> <p>17年度はやや改善したが、19年度は減税補てん債の繰上償還や(仮称)桃井中央公園の用地取得、杉並公会堂PFI、杉並芸術会館建設、小学校改築など投資的経費の増により、1人あたりの行政コストは前年度に比べ増加した。</p> <p>20年度は、減税補てん債の繰上償還を「スマートすぎなみ計画」を前倒しで実施するなど、ほぼ前年度並みに推移し微減となった。</p> <p>『区民の区政満足度』は、73.4%で昨年と比較して微減となった。区が力を入れていると評価できる施策(上位5施策)は、自転車駐車場整備、公害・環境対策、みどり・環境対策、子育て施策、道路・交通施策となったが、今後特に力を入れるべきだと思う施策は高齢者施策、子育て施策、災害対策が高くなっており、安全・安心の生活環境に対する期待は大きい。</p> <p>『杉並区を住みよいつ感じている区民の割合』は、昨年を若干下回り94.8%であったが、平成12年度以降90%を超える高い水準を維持しており、平成22年度の目標に近い数値となっている。高円寺、阿佐谷、西荻地域は95%を超え目標値を達成しており、他の地域についても90%を超える高い水準となっている。</p> <p>『職員のやる気指数』は、19年度から上昇傾向にある。特に職種別では、福祉系職員の割合が最も高く、目標値である90%を超えている。やりがいを感じる時として、「区民等に感謝されたとき」「新たな技術・知識を吸収できたとき」「目に見える成果(結果)が出たとき」が上位に挙げられている。</p> <p>『区民1人あたりの区の負債額』は、起債発行を抑制する一方、この間、減債基金を活用して減税補てん債の繰上償還を前倒しで実施し、20年度で残高ゼロを達成した結果、ピーク時の12年度(177,435円)と比較して77.1%減少し、負債額も40,656円となった。</p>

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	区民1人あたりの行政コスト	23区中の順位は、15年度は行政改革の成果により23区中最も低くなった。20年度は、減税補てん債の繰上償還を「スマートすぎなみ計画」を前倒して実施するなど、ほぼ前年度並みに推移し、1人あたりのコストは微減となった。また、16・17・18・19年度同様、低い方から2番目の順位を維持した。
	当該年度普通会計決算額 / 年度末現在住民基本台帳人口	
2	区民の区政満足度	杉並区が力を入れていると評価できる施策 (区民意向調査: 上位5施策) 自転車駐車場の整備 33.3% 公害・環境対策と省資源・リサイクル 32.3% みどりと景観に配慮したまちづくり 29.3% 子育て支援 18.2% 道路・交通体系の整備施策 14.2%
	区民意向調査の設問中、「あなたは、杉並区が行っている事業やサービスについて、どの程度満足していますか」に「とても満足している」「まあ満足している」と回答した人の割合	
3	杉並区が住みよいと感じている区民の割合	【地域別】 井草地域 93.8% 西荻地域 95.9% 荻窪地域 94.6% 阿佐谷地域 96.2% 高円寺地域 96.5% 高井戸地域 93.7% 方南・和泉地域 92.2%
	区民意向調査の設問中、「現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いますか」に「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した人の割合	
4	職員のやる気指数	【職種別】 事務系 73.0% 福祉系 93.5% 一般技術系 75.3% 医療技術系 85.3% 現業系 84.2%
	職員意識調査の設問中、「あなたは、今の仕事にやりがいを感じていますか」に「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合	
5	区民1人あたりの区の負債額	15年度は23区中、7番目であったが、16年度は、7年度に発行した55億円の減税補てん債を繰上償還したことにより区債残高は大幅に減少し、23区中4番目に低い順位となった。20年度も自主財源の確保に努め、新規起債を抑制する一方、この間、減債基金を活用して減税補てん債の繰上償還を「スマートすぎなみ計画」を前倒して実施し、20年度で残高ゼロを達成した結果、低い方から2番目の順位となった。23区全体としても、区債発行の抑制等に努めており、当区と同じ傾向で平均値は減少している。
	当該年度末区債残高 / 年度末現在住民基本台帳人口	
特記事項		